



No.	023 — 1027	事務事業名	市民大学開催事業										公的関与	7	
P L A N	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500		メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.lg.jp						
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	全部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度	～	期間指定なし				
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち	政策項目	3 生涯学習社会の推進		主要施策	1 学びあい高めあう生涯学習の推進							
	事業の目的	生涯学習社会に対応した学習活動を展開するため。					根拠法令等								
	事業の手段	各界の第一人者を招いて講演会等を開催します。					掲載計画								
	達成度を測る指標	指標名	計算式又は指標設定理由				単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標				
		市民大学開催	参加人数	人	目標	200	450	300	400						
				実績	130	338									
				目標											
				実績											
活動内容	①	市民大学開催				④									
	②					⑤									
	③														
	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育					費			
	D O		令和5年度決算	令和6年度決算			令和7年度予算						備考		
直接事業費		国・県支出金	0 千円			0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円			0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円			0 千円	0 千円								
		一般財源	400 千円			400 千円	400 千円								
		人件費(B)	計(A)	400 千円			400 千円	400 千円							
正職員工数・経費	0.025 人		158 千円	0.025 人	161 千円	0.025 人	161 千円								
臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円									
全体事業費(A+B)	558 千円			561 千円			561 千円								
C H E C K · A C T I O N	一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)													
	必要性	文化協会に事業委託し実施しており、文化協会は地域文化の向上を図る活動を行っている団体であるため、事業委託が適当と考えます。													
	有効性	文化協会の活動は地域文化の向上に寄与し、文化行政の支えであるため、事業委託することで文化協会の活動にも良い影響を与えるものと考えています。													
	達成度	毎年多くの参加者あり、これはニーズに合った開催が出来ていると判断しています。													
	効率性	令和3年度より委託料を減額しており、コスト以上の効果があるものと判断しています。													
	当面の課題	市民の豊かな心づくりや多様な学習意欲に応えるために開催しているため、市民のニーズに応えることが重要だと考えています。													
	改革計画	参加者からアンケート調査等を実施し、その結果を次年度以降の開催計画に反映させていきます。													
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善		
二次評価での指摘事項	令和5年にはコロナウイルス感染症が第2類から第5類に引き下げられ、人の交流活動もコロナ禍前のように活発化しだしています。市民大学はコロナ流行中、規模も縮小し実施していました。また、令和2年度以降は予算額を半減するなど経費削減にも努めています。今後は、事業の在り方を再検討し、中止を回避するためのオンラインやweb配信などによる新たな手法も模索してみてください。														

No.	023 — 1041	事務事業名	社会教育総務関連各種団体補助金 (PTA連合会育成事業)								公的関与	3		
P L A N	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.lg.jp						
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	補助等	実施計画	非該当	事業期間	年度	～	期間限定なし			
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち	政策項目	3 生涯学習社会の推進		主要施策	1 学びあい高めあう生涯学習の推進						
	事業の目的	東温市のPTAの発展を目指し、次代を担う子どもたちの豊かな心、健やかな体、確かな学力を育むための環境づくり、保護者や教職員の資質の向上並びに教育の振興を図るため。					根拠法令等	東温市社会教育関係団体等補助金交付要綱、東温市PTA連合会会則等						
	事業の手段	会員の意識と連帯感の向上、子どもたちの健全育成、安心・安全な生活環境条件の整備・充実に努めることを目的に組織された「東温市PTA連合会」を支援します。					掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名	計算式又は指標設定理由				単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標			
		会員数	組織規模の維持拡大				人	目標	2,800	2,800	2,800	3,300		
							実績	2,779	2,754					
							人	目標	350	350	350	450		
	研修会の参加者数	参加者数				人	実績	387	303					
目標														
実績														
活動内容	① PTA連合会研修会の開催					④								
	② 読書活動研修会の開催					⑤								
	③ 愛媛県PTA連合会事業への参加													
D O	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育				費			
	直接事業費		令和5年度決算		令和6年度決算		令和7年度予算		備考					
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円							
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円							
		一般財源	280 千円		280 千円		280 千円							
	計(A)	280 千円		280 千円		280 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.310 人	1,964 千円	0.310 人	1,996 千円	0.310 人	1,996 千円						
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
	全体事業費(A+B)	2,244 千円		2,276 千円		2,276 千円								
C H E C K · A C T I O N	一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	青少年の健全育成及びその周辺環境の整備を目的とした保護者組織の存在は必要不可欠です。市PTA連合会はそれら各組織同士のつながりや交流を深める場として重要な枠割を担っています。												
	有効性	家庭内での教育は重要視されており、保護者がメインとなります。団体の運営維持においては今後においても有効です。												
	達成度	少子化による会員数減少は仕方がないものですが、研修会の参加者数はおおむね横ばいで目標を達成しています。												
	効率性	現在、三役会及び役員会をそれぞれ年間5回ずつ開催していますが、コロナ禍以降は協議内容の集約やリモート協議を行っており、より効率的な連合会の運営を行っています。												
	当面の課題	少子化により会員数が減少していますが、予定された計画は実施しており、活動機会は確保しています。												
	改革計画	「社会総がかりの子育て」を行う上で、PTA活動は重要度も高いことから、引き続き支援を続けます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実	
二次評価での指摘事項	我が国の宝である子供たちを健全に育むためには、必要不可欠な団体であります。しかしながら、近年の少子高齢化の波には抗えず、東温市PTA連合会も、会員数の減少が顕著に出てきているのが現状です。今後については、会長を中心として活気ある活動がなされ、新たな取組を期待しており、市の支援については継続することが必要であると考えています。													

No.	023 — 1050	事務事業名	公民館事業（とうおん出前講座運営事業）								公的関与	8		
P L A N	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.lg.jp						
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度	～	期間設定なし			
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち	政策項目	3 生涯学習社会の推進		主要施策	1 学びあい高めあう生涯学習の推進						
	事業の目的	市民の行政に対する理解や、関心を深めるため。					根拠法令等							
	事業の手段	申請に基づき市職員を派遣し、市の取組や暮らしに役立つ情報等を説明します。					掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名	計算式又は指標設定理由				単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標			
		とうおん出前講座申請件数	申請のあった件数				件	目標	15	15	15	20		
								実績	10	16				
								目標						
	D O	活動内容						実績						
①			年間を通して、講座の申請を受け付け、関係課と調整し講師を派遣					④						
②								⑤						
③														
予算費目		会計	一般会計			費目名	教育					費		
直接事業費			令和5年度決算	令和6年度決算			令和7年度予算						備考	
		国・県支出金	0千円	0千円			0千円							
		地方債	0千円	0千円			0千円							
		その他特定財源	0千円	0千円			0千円							
		一般財源	0千円	0千円			0千円							
人件費(B)	計(A)	0千円	0千円			0千円								
	正職員工数・経費	0.010人	63千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円							
臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.010人	22千円	0.010人	22千円								
全体事業費(A+B)		63千円	22千円			22千円								
C H E C K · A C T I O N	一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
	必要性	市の事業や施策について説明を行う事業であるため、市が実施する必要があります。												
	有効性	出前講座を通さず説明会や講座等を実施していますが競合はしていません。申請に応じて直接の担当課の職員を派遣する事業であるので、講座としては適切といえます。												
	達成度	コロナ禍以降、実施回数は回復傾向にあります。												
	効率性	事業としては職員を講師として派遣するのみで成立しており、コスト対効果は高いといえます。												
	当面の課題	ごみに關することや防災、消費相談など生活に直結する講座の依頼が増えています。												
	改革計画	講座外でも、市民の生活に直結する市の取組や情報発信をしていく必要があります。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
二次評価での指摘事項	令和5年度にコロナウイルス感染症の感染症分類が第2類から第5類へ引き下げられたことにより、市民の社会活動がコロナ禍以前の状態に回復している傾向ではありますが、当該年度は一気に依頼回数の回復には至りませんでした。しかしながら、6年度は、目標より多くの件数を実施できています。 本事業については、市の施策等を市民に広報周知できる一つの手段となっており、必要不可欠な事業であるため、今後も可能な講座を増やすなど、拡大・充実を図ってください。													

No.	023 — 1063	事務事業名	家庭教育学級推進事業										公的関与	8
P L A N	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500		メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.lg.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	全部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度	～	期間設定なし			
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	2 青少年の健全育成		主要施策	地域ぐるみで取り組む青少年健全育成活動の推進					
	事業の目的	家庭のあり方を見つめ直し、心の教育を学ぶとともに家族の絆を深め、家庭教育力の向上を図るため。					根拠法令等							
	事業の手段	各幼稚園・小中学校に家庭教育学級運営委員会を設け、委員会ごとに特色ある活動を支援します。					掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名	計算式又は指標設定理由				単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標			
		家庭学級開催数	実績	回	目標	60		65	72	72				
					実績	51		61						
					目標									
					実績									
D O	活動内容	① 説明会の開催	④											
		② 情報交換会の開催	⑤											
		③												
	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育					費		
	直接事業費		令和5年度決算	令和6年度決算			令和7年度予算						備考	
		国・県支出金	0 千円			0 千円			0 千円					
		地方債	0 千円			0 千円			0 千円					
		その他特定財源	0 千円			0 千円			0 千円					
		一般財源	583 千円			579 千円			480 千円					
	人件費(B)	計(A)	583 千円			579 千円			480 千円					
正職員工数・経費		0.035 人	222 千円	0.035 人	225 千円	0.035 人	225 千円							
臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)	805 千円			804 千円			705 千円							
C H E C K · A C T I O N	一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	平日実施がメインとなっていますが、学校行事と合わせての実施など日程に工夫しています。												
	有効性	情報交換会を実施することで、他の家庭教育学級の内容を把握でき、次年度以降に取り入れるなどしています。												
	達成度	年度当初に作成した事業計画書の内容で、家庭教育学級が実施されています。												
	効率性	単独開催が難しい幼稚園は近接の小学校と合同開催をしています。												
	当面の課題	今後少子化もあり、単独での家庭教育学級開催が難しくなることが想定されています。												
	改革計画	近隣校で合同開催するなど、家庭教育学級数が減ったとしても事業実施が継続できるよう支援します。												
	二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
	二次評価での指摘事項	家庭教育学級は、親自身が視野を広げ、社会性を向上するような学びをすることで、こどもの成長に積極的にかかわることができ、子どもの健全育成に繋がるものと考えています。出来るだけ多くの会員が参加できるよう、計画的・継続的に行い、少子化の影響なども考慮しながら運営のあり方を検討してください。												

No.	023 — 1077	事務事業名	各種講座開催事業								公的関与	8		
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.lg.jp						
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度	～	期間設定なし			
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち	政策項目	3 生涯学習社会の推進		主要施策	1 学びあい高めあう生涯学習の推進						
	事業の目的	現代社会において必要な知識や技能等を学ぶ場所の提供や、地区婦人の連携・資質向上を目指すため。					根拠法令等							
	事業の手段	東温カレッジは年7回の開催、地区婦人学級は婦人会へ委託し実施します。					掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名	計算式又は指標設定理由				単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標			
		東温カレッジ開催件数	開催件数				件	目標 7	7	7	10			
		地区婦人学級受託件数	受託件数				件	目標 8	7	7	11			
							件	目標 8	7	7	11			
	DO	活動内容	① 東温カレッジの開催					④						
② 地区婦人学級の開催委託							⑤							
③														
予算費目		会計	一般会計			費目名	教育				費			
直接事業費			令和5年度決算	令和6年度決算			令和7年度予算					備考		
		国・県支出金	0 千円	0 千円			0 千円							
		地方債	0 千円	0 千円			0 千円							
		その他特定財源	0 千円	0 千円			0 千円							
		一般財源	173 千円	174 千円			194 千円							
人件費(B)		計(A)	173 千円	174 千円			194 千円							
	正職員工数・経費	0.030 人	190 千円	0.030 人	193 千円	0.030 人	193 千円							
臨時職員工数・経費	0.058 人	121 千円	0.058 人	130 千円	0.058 人	130 千円								
全体事業費(A+B)		484 千円	497 千円			517 千円								
CHECK・ACTION	一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	東温カレッジはアンケートを実施しており、その結果を反映した講座を開催することで、参加者のニーズにあった学習機会を提供しています。婦人学級は学んだ成果を自分自身に生かし地域社会にも還元しております、その必要性は高いと言えます。												
	有効性	内容のマンネリ化という点では課題はありますが、知識や技能等を学習する機会となっていましたり、地域の環境美化・環境改善に寄与していることから有効性が高いと言えます。												
	達成度	婦人会の婦人学級開催支部が固定化されているため、拡充を図る必要があります。また東温カレッジは要望の高い講座は残しつつ、講座内容の変更をしながら実施しています。												
	効率性	婦人学級は各地域で展開しており、地域に根ざした活動をおこなうことで地域社会に貢献しています。また東温カレッジは、講座によっては参加者の少ない講座があるため、内容の検討が必要です。												
	当面の課題	東温カレッジは参加者の学習ニーズを把握し、参加者が多くなるような内容の検討が必要であると認識しています。												
	改革計画	時代に即したもの且つ多くの受講者に受け入れられるものを講座として実施出来るよう情報収集していきます。												
	二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
	二次評価での指摘事項	高齢者向けの講座ということもあり、参加メンバーが固定化している傾向が顕著に見受けられます。 今後は、講座内容のマンネリ化を避け、年度当初の受講生募集前には、新たな講座内容を十分に検討してください。(人権講座、健康推進課実施講座を除く)												

No.	023 — 1079	事務事業名	学校・家庭・地域連携推進事業（わんぱく広場開催事業）										公的関与	8	
P L A N	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.lg.jp							
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	令和2年度	～	期間設定なし				
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち	政策項目	3 生涯学習社会の推進			主要施策	1 学びあい高めあう生涯学習の推進						
	事業の目的	土日等において、様々な体験活動を提供することにより、子どもたちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性を育むため。					根拠法令等	地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業実施要領(県)							
	事業の手段	多様な経験や技能を有する人材等の活用により、特色・魅力ある教育プログラムを実施します。					掲載計画								
	達成度を測る指標	指標名	計算式又は指標設定理由				単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標				
		わんぱく広場登録者数	登録者数	人	目標	60		60	60	60					
					実績	63		64							
					目標										
					実績										
活動内容	①	重信わんぱく広場において、年間を通して様々な体験講座を実施				④									
	②	川内わんぱく広場において、年間を通して様々な体験講座を実施				⑤									
	③														
D O	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育				費	△			
	直接事業費		令和5年度決算	令和6年度決算			令和7年度予算	備考							
		国・県支出金	379千円			422千円			546千円						
		地方債	0千円			0千円			0千円						
		その他特定財源	0千円			0千円			0千円						
		一般財源	190千円			211千円			273千円						
	計(A)	569千円			633千円			819千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.531人	3,364千円	0.531人	3,419千円	0.531人	3,419千円							
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円							
	全体事業費(A+B)	3,933千円			4,052千円			4,238千円							
C H E C K · A C T I O N	一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）													
	必要性	休日等において多様な経験や技能を有する人材等を活用し、特色ある教育プログラムを実施することで、他者と協働しながら課題を解決する力の育成をおこなうことは、社会教育として必要な事業と考えます。													
	有効性	参加児童の交流を図り、協調性や自主性を育むために有効です。													
	達成度	講座内容を毎年見直し、人気の講座は残しつつ、魅力ある講座づくりを実施していることが登録人数の増加につながっています。													
	効率性	材料費などの受益者負担も行い、適切な予算執行に努めています。													
	当面の課題	定員を超える応募が近年続いていることから、希望者全員の受け入れ態勢の整備を検討する必要があります。													
	改革計画	直営だけでなく、事業の委託も視野にいれ、様々な視点からの体制整備が必要です。													
	二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	方法改善	
	二次評価での指摘事項	平成30年度から重信地区と川内地区に地区分けし、事業規模を拡大したわんぱく広場ですが、新型コロナウイルス感染症の影響で参加者数が減少したものの、現在は参加者数も増加傾向にあります。今後についても、様々な魅力ある内容を取り入れるなどし、人気のある事業となることを切に望んでいます。													

No.	023 — 1085	事務事業名	学校・家庭・地域連携推進事業（地域学校協働活動事務）										公的関与	8
P L A N	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500		メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.lg.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	令和2年度	～	期間設定なし			
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち	政策項目	3 生涯学習社会の推進			主要施策	1 学びあい高めあう生涯学習の推進					
	事業の目的	幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指すため。					根拠法令等	地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業実施要領(県)						
	事業の手段	学校・家庭・地域が連携・協働できるよう、地域の実情に合わせた取組の支援を行います。					掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名	計算式又は指標設定理由				単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標			
		学校・家庭・地域連携推進事業実施校	実施校数				校	目標	9	9	9	9		
								実績	9	9				
								目標						
								実績						
D O	活動内容	① 各学校における地域学校協働活動					④							
		②					⑤							
		③												
	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育				費			
	直接事業費		令和5年度決算			令和6年度決算	令和7年度予算		備考					
		国・県支出金	734千円			1,218千円	960千円							
		地方債	0千円			0千円	0千円							
		その他特定財源	0千円			0千円	0千円							
		一般財源	367千円			609千円	480千円							
	人件費(B)	計(A)	1,101千円			1,827千円	1,440千円							
正職員工数・経費		0.125人	792千円	0.125人	805千円	0.125人	805千円							
臨時職員工数・経費		0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円							
全体事業費(A+B)	1,893千円			2,632千円	2,245千円									
C H E C K · A C T I O N	一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
	必要性	学校・家庭・地域が一体となり実施する事業であるため、調整役として市の役割が求められています。												
	有効性	子どもたちが夢の実現にチャレンジできるよう、開かれた学校づくりを進め、魅力ある教育環境を整備していく上で有効な事業です。												
	達成度	市内の小中学校全てにおいて、コミュニティースクールの導入を行い、開かれた学校づくりを推進しました。												
	効率性	地域住民の参画を図り、より魅力ある教育環境づくりの整備が求められます。												
	当面の課題	事業への協力方法として、協働活動サポーターのみでなく、ボランティースタッフとして参加など様々な方法があることについての周知が進んでいません。												
	改革計画	事業への参加方法は、「ひとつ」でなく複数あることを周知していきます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
二次評価での指摘事項	地域学校協働活動は、学校運営協議会の設置に伴い令和2年度から市内の小学校において開始されています。本事業を推進するためには、地域と学校の連携・協力が不可欠であり、地域コーディネーターや協働活動サポーターを確保しなければなりません。子供たちの健全育成を図るために、必要な事業であり、市が引き続き支援する必要があります。													

No.	023	—	2014	事務事業名	社会体育一般事務費								公的関与	8	
P L A N	課名	生涯学習課		係名	スポーツ振興係		電話番号	089-964-1500		メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.lg.jp				
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	年度	～	期間設定なし			
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 生涯学習社会の推進			主要施策	1 学びあい高めあう生涯学習の推進					
	事業の目的	社会体育事業を推進するため。						根拠法令等							
	事業の手段	スポーツ推進委員会の開催や各種研修会に参加します。						掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名	計算式又は指標設定理由					単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標			
		スポーツ推進委員会の開催	開催回数					目標	6	6	6	10			
								実績	6	6					
								目標							
								実績							
活動内容	①	スポーツ推進委員会の開催					④								
	②	文化芸術スポーツ栄誉章、きらめき東温大賞授与式の開催					⑤								
	③														
	予算費目	会計	一般会計				費目名	教育				費			
	D O		令和5年度決算	令和6年度決算				令和7年度予算	備考						
直接事業費		国・県支出金	0 千円				0 千円	0 千円							
		地方債	0 千円				0 千円	0 千円							
		その他特定財源	0 千円				0 千円	0 千円							
		一般財源	3,361 千円				3,820 千円	3,742 千円							
		人件費(B)	計(A)	3,361 千円				3,820 千円	3,742 千円						
正職員工数・経費	0.260 人		1,647 千円	0.280 人	1,803 千円	0.280 人	1,803 千円								
全体事業費(A+B)		5,013 千円				5,627 千円	5,549 千円								
C H E C K · A C T I O N	一次評価者	スポーツ振興係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)													
	必要性	スポーツ推進委員の協力によりスポーツ大会の適切な運営が図られています。スポーツ栄誉章等の内容は精査を行う必要があります。													
	有効性	スポーツ大会の開催により市民の親睦融和が図られ、スポーツ推進委員会で検討を重ねたニュースポーツであるモルックを、令和6年度三世代交流スポーツ大会で実施することができました。													
	達成度	各種スポーツ大会の前後にスポーツ推進委員会を開催することで、大会の振り返りや開催に向けた検討を行うことができています。また、スポーツ栄誉賞等で表彰することで、市民のスポーツ推進を図ることができました。													
	効率性	適切な報酬でスポーツ推進委員会を運営できています。													
	当面の課題	スポーツ推進委員会主催のスポーツ教室などを開催しておらず、地域スポーツの普及に繋がっていない。 三世代交流スポーツ大会は、参加分館数が減少しており、実施方法について検討する必要がある。													
	改革計画	ニュースポーツ(例えばモルック、キンボール、パークゴルフ、ペタンクなど)の研修会を各分館に呼びかけ実施するなどし、どなたでも参加できるスポーツの普及に努めます。 三世代交流スポーツ大会に代わる、どなたでも楽しめるスポーツ大会の開催について検討します。													
	二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
	二次評価での指摘事項	スポーツ推進委員は、事業の企画・立案や運営のほか、地域住民・行政・スポーツ団体との間の円滑な連携の調整などを行い、地域スポーツの中核的役割を担うことが求められていますので、何らかのスポーツ交流イベントを開催するなど検討してください。また、参加分館が少ない三世代交流スポーツ大会については、開催の可否も含め大会のあり方を検討してください。 なお、各種大会を開催するにあたっては、参加分館の数を確認し、適正な入賞数となるよう検討してください。													



No.	023 — 3043	事務事業名	歴史民俗資料館運営事業								公的関与	8		
P L A N	課名	生涯学習課	係名	文化振興係	電話番号	089-964-0701	メールアドレス	rekimin@city.toon.lg.jp						
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度	～	期間設定なし			
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち	政策項目	4 文化・スポーツの推進		主要施策	1 地域文化の継承・発展と文化財の保存・活用						
	事業の目的	文化財資料等を保管するための施設管理や、資料の活用により東温市の歴史や文化への理解を深めるため。					根拠法令等							
	事業の手段	施設の維持管理を適切に実施し、保存環境の整備を進めるとともに、魅力ある展示や各種講座を開催します。					掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名	計算式又は指標設定理由				単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標			
		東温市立歴史民俗資料館入館者数	年間入館者数	人	目標	2,000	2,000	2,200	2,200					
				実績	1,891	2,048								
				目標	276	272	286	290						
	開館日数	開館日数	日	実績	276	272								
目標														
実績														
活動内容	① 歴史民俗資料館の管理運営	④												
	② 歴史民俗資料館展示室のクリーニング清掃	⑤												
	③ 運営に必要な事務用品や備品等の購入													
予算費目	会計	一般会計			費目名	教育					費			
D O		令和5年度決算	令和6年度決算			令和7年度予算						備考		
	直接事業費	国・県支出金	0 千円			0 千円	0 千円							
		地方債	0 千円			0 千円	0 千円							
		その他特定財源	3 千円			1 千円	6 千円							
		一般財源	2,179 千円			5,009 千円	3,035 千円							
		計(A)	2,182 千円			5,010 千円	3,041 千円							
人件費(B)	正職員工数・経費	0.404 人	2,560 千円	0.531 人	3,419 千円	0.531 人	3,419 千円							
	臨時職員工数・経費	0.101 人	211 千円	0.382 人	854 千円	0.382 人	854 千円							
全体事業費(A+B)	4,953 千円			9,282 千円	7,313 千円									
C H E C K · A C T I O N	一次評価者	文化振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	施設の管理は、収蔵庫、展示室の空調管理が必要です。また、施設改修については、図書館と一体のため総合的な検討が必要です。												
	有効性	収蔵物を損なわない管理が重要です。歴史民俗資料館は展示施設であり、来館者が利用しやすい環境の保持が必要です。収蔵品や展示替えなどの情報提供に努めています。												
	達成度	施設の改修工事の予定はありませんが、修繕等速やかに対応し、来館者に不都合のないようにしています。												
	効率性	図書館との複合施設であり、図書館入口の掲示スペースや施設内の階段壁面を活用して、展示案内用ポスター、パネルを掲示しております。												
	当面の課題	建物の老朽化による部分的な修繕対応が、今後も必要です。												
	改革計画	館内の環境維持のため、図書館とも協議の上、連携を図っていきます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持	
二次評価での指摘事項	歴史民俗資料館は、来館者の増加を図るために平成28年度から祝日開館を実施してきましたが、令和2年度からの新型コロナウイルス感染症の影響により、入館者数は大幅に減少したものの、コロナ禍も一段落し、現在は、徐々に回復しているようです。今後についても、利用者が安心して来館できる施設の運営が必要です。													

